

製品名: CD146 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21362**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:72kD;Observed MW:125kD

抗原情報

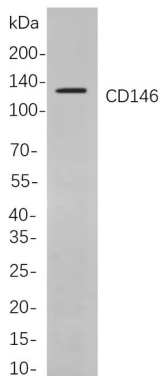
遺伝子名	MCAM MUC18
別名	Cell surface glycoprotein MUC18 (Cell surface glycoprotein P1H12;Melanoma cell adhesion molecule;Melanoma-associated antigen A32;Melanoma-associated antigen MUC18;S-endo 1 endothelial-associated antigen;CD antigen CD146)
遺伝子 ID	4162.0
SwissProt ID	P43121
免疫原	ヒト CD146 の合成ペプチド

背景

細胞局在: 膜。機能: 細胞接着、および血管組織の細胞間接合部における内皮単層の接着に関与する。その発現により、黒色腫細胞が血管系の細胞要素と相互作用し、血行性腫瘍拡散を促進する可能性がある。胚発生中の神経堤細胞で活性化する接着分子である可能性がある。FYN および PTK2 のチロシンリン酸化、および細胞内カルシウム濃度の一時的な上昇を引き起こす表面受容体として機能する。類似性: 2つの Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。類似性: 3つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。組織特異性: 全身の血管組織の内皮細胞で検出される。胚の移動中に神経堤細胞の表面に現れる可能性がある。正常成人組織では血管平滑筋に限定されていると考えられる。ヒト悪性黒色腫における腫瘍の進行および転移の発生と関連している。転移病変および進行原発性腫瘍で最も強く発現し、良性色素細胞性母斑および転移の可能性が低い薄い原発性黒色腫では稀にしか検出されない。

研究分野

画像データ



CD146 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。